

令和6年度 若狭町立野木小学校スクールプラン

児童の実態

- ・何事にも真面目に取り組む
- ・相手の気持ちを考えて行動できる
- ・温かな心を持ち周りにもやさしい

保護者や教師の願い

- ・確かな学力をつけてほしい
- ・豊かな心をもってほしい
- ・たくましい心と体をつくってほしい

【若狭町教育大綱・教育振興基本計画の基本理念】
自ら学び考える主体性と多様な人々との協働により、「未来を拓く力」を培う自立と共生の心と、ふるさとへの誇りと愛着心を持ち、グローバルに活躍できる人材を育成する。

【学校教育目標】
自ら問い 自ら考え 自ら行動する

【めざす学校像】
笑顔あふれる学校
安心安全な学校
地域に愛される学校

【めざす教職員像】
学び続ける教職員
プラスαのある教職員
信頼される教職員

【研究主題】 自分のよさに気づき、豊かにつながり合う児童の育成
～主体的・対話的に学びを深める授業づくりを通して～

【めざす児童像】

自分の考えを持つ人

自分や人を大切にする人

チャレンジする人

【重点目標】

自分の考えを持ち、伝える力を育てる

自己肯定感と共感力を育てる

目標に向かって粘り強く取り組む力を育てる

【具体的取組】

- ・「問い」を生み出す課題設定と提示の工夫をする。
- ・授業や集会等で、自分の思いや考えを伝え合う場を設定する。
- ・ふるさとの魅力を知り、広げる学習を推進する。（米作り、野木町との交流、外部への発信等）

- ・ポジティブ教育を活用した教育活動を実践する。
- ・縦割り活動や地域の方など多様な他者に関わる交流活動を実践する。
- ・多様性を尊重し、自他を大切にする人権教育とインクルーシブ教育を推進し、いじめ・不登校の未然防止に努める。

- ・個人の目標(学習、運動、読書等)を設定し、目標に向かって努力する意欲を育てる。
- ・本物に触れる体験活動や将来の夢や生き方について考えるキャリア教育の充実を図る。
- ・学級や縦割り活動、学校行事等で児童の主体性を生かした活動を推進する。

【数値目標】

- ・問い(はてな)を持ちながら学習に取り組む(90%)
- ・自分の思いや考えを伝え合うことができる(80%)
- ・ふるさとについて知り、伝える(90%)

- ・自分も他者も大切にする(90%)
- ・学校が楽しい(90%)
- ・自分にはよいところがあると思う(90%)

- ・目標をもって様々なことに挑戦する(90%)
- ・将来の夢やめざす目標をもっている(90%)
- ・自分で考えて行動したり、工夫したりする(80%)

【家庭・地域との連携】 信頼される学校づくり

- ・保護者が相談しやすい雰囲気づくり
- ・保護者や地域と共に行う学習活動や体験活動の推進
- ・学校だよりやSNS等による積極的な情報発信

【業務改善の取組】

- ・勤務時間に関する個人目標の設定
- ・教職員間の連携と情報共有の促進
- ・業務の見直しと精選
- ・休暇を取りやすい職場環境づくり